

穂谷川緑道から山田池公園へ

(第93回くらわん会 2004/03/02)

いつも元気一杯の原会長が今日は欠席している。かわって佐々山副会長が朝の挨拶の時、足をひねって筋をたがえたとかで大事を取って今日は休んでいると皆に報告している。何はともあれ大事にならなかってよかったと思う。

京阪牧野駅の集合場所には、くらわん会では過去最高の155名の大人数が集まってきた。ちなみに南地区が57名、北地区は48名、外部からも50名、うち女性が40名である。

一行は駅の東にある片埜神社にやってくる。この神社は延喜式内社で古くからの由緒ある社である。三間社流造、檜皮葺の流麗な屋根の本殿は国の重要文化財に指定されている。

隣の牧野公園にはサクラの木の陰にひっそりとアテルイの首塚が祭られている。アテルイは平安初期、蝦夷の首領として大和朝廷と戦い、この地で処刑されたと言われる実在の人物。3月2日、今日枚方市民会館でミュージカル「アテルイ」が上演されることになっており、これを記念してこの神社の境内で出演者によるミニコンサートが開かれる。舞台には演奏器具が準備され椅子も並べられているところにちようど出くわした。

穂谷川右岸の遊歩道を長い行列を作って東の方へと歩いていく。少し肌寒い天気であるが歩くにはちようどよい。左手に牧野の商店街、大阪歯科大学、右手には牧野車塚古墳の林、関西外大の建物を見ながら、一人もくもくと歩く人、ぺちゃくちゃと仲良し同士でしゃべくりあう人、穂谷川に捨てられたゴミの山に憤慨する人などそれぞれ思い思いに歩いている。やがて前方に山田池公園の大きな森が見えてきた。

国道1号線のトンネルをくぐると、すぐに山田池公園の西入り口である。森林たっぷりの公園、山田池は今は冬枯れで水は干上がっており、浮身堂も無残に橋桁をさらしているが、冬の風物詩の水鳥が柳越しに何羽かたわむれているのも見られる。

牧野駅前
の小公園に
くらわん会
で過去最
高の百五十
五名が集
合



牧野駅前を出発し片埜神社に向かう



片埜神社
拝殿前の
紅梅も見
事に満開
でした



手を清めて参拝、片埜神社の三間社流造、檜皮葺の流麗な屋根の本殿は国の重要文化財に指定





るそり牧野公園にはサクラの木の陰にひっそりとアテルイの首塚が祭られてい

りと遊歩道を巡り、花の時期には人出で賑わう菖蒲池を過ぎると梅園にやってきた。ちょうど今が見ごろの白梅、紅梅が咲きみだれており、絶好の観梅の日にやってきたことになる。一同は思い思いに梅花の下に陣取ってお弁当になる。折りよく日も差してきて、お酒など含んでいると身も心も豊かな気分になってくる。

公園を出て再び穂谷川沿いの小道をさかのぼって行く。左手には今、山田池公園の拡張工事が行われており、何年か後にはまたここにはこなければと思う。前方の生駒山塊の一角、交野山、国見山を見ながら少し疲れた足を引きずりながら、やっとこらさと藤坂駅まで歩いていく。

石田富雄記



今日、市民会館でミュージカル「アテルイ」が上演、記念して片埜神社境内で出演者によるミニコンサート



穂谷川右岸の遊歩道を東の方へと歩いていく、左手に牧野の商店街、大阪歯科大学、右手には牧野車塚古墳の林、関西外大の建物

冬枯れの穂谷川にコガモの群れがいた



牧野一番街を左に見て穂谷川沿いをゆく

能力不足に陥っているごみ焼却所の煙突が見えてきた





山田池公園内の休憩所でくつろぐ
国道1号線のトンネルをくぐると、
すぐに山田池公園の西入り口



山田池をぐるりと回って梅園に向かう
水ぬるむ山田池も水位が下がっていた



山田池は今も冬枯れで水は干上がった
しており、浮身堂も無残に橋桁をさら
している



今が見ごろの白梅、紅梅が咲きみだ
れ、絶好の観梅の日、一同は思い思
いに梅花の下に陣取ってお弁当に
紅梅、白梅が満開を誇っている梅園に
到着する





白梅も青空に誇り高く香る

梅
こぼれ落ちそうに花をつけたしだれ



穏やかな陽射しにぬくもりを感じながら昼食

溢れる梅の香りに浸りながらの優雅な昼食



前方に生駒山塊の、交野山、国見山を見ながら少し疲れた足をはこぶ

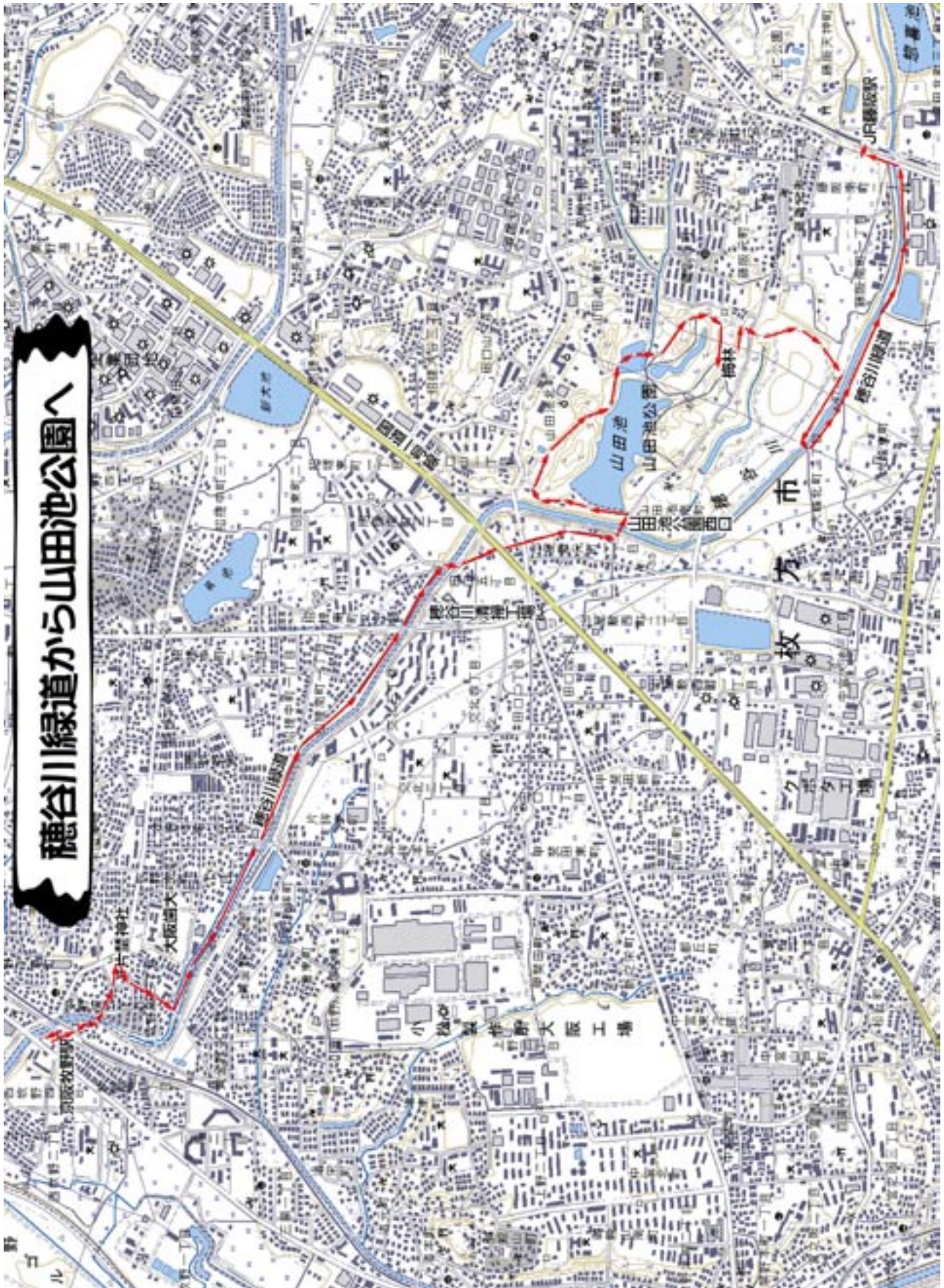
穂谷川緑道左岸をJR藤阪駅に向かう



左手には、山田池公園の拡張工事が行われている、何年か後にはまたここにはこなければ

JR藤阪駅近くで本日の行程は解散





<行程>

京阪牧野駅⇒片莚神社⇒穂谷川緑道⇒国道1号線⇒山田池公園西口⇒梅林（昼食）⇒穂谷川緑道⇒JR 藤阪駅 約8 km

2004年03月02日（火） 第93回例会 155名参加